

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 8 月 26 日 (2021.8.26)

【公開番号】特開 2019-216765 (P2019-216765A)
 【公開日】令和 1 年 12 月 26 日 (2019.12.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-052
 【出願番号】特願 2018-114046 (P2018-114046)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 13 日 (2021.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとっての有利度にかかわる設定値にもとづいて遊技の進行にかかわる制御を実行可能であり、情報を記憶可能な記憶手段を有する制御手段と、

前記設定値にかかわる操作に用いられる設定操作手段と、

前記記憶手段に記憶される情報を消去する操作に用いられる特定操作手段と、

電源が投入されると前記制御手段に電力を供給可能な電力供給手段と、

所定の演出領域に表示される画像を制御可能な演出制御手段と、

を備え、

前記制御手段は、

前記設定操作手段の操作状態と前記特定操作手段の操作状態とに応じて、電源が投入されたのちの状態を、前記設定値を変更することが可能な設定変更状態および前記設定値を確認することが可能な設定確認状態を含む複数の状態のうちいずれかに制御可能な状態制御手段と、

前記設定値の情報を第 1 表示手段に表示可能な第 1 表示制御手段と、

前記設定変更状態であることを示す情報を前記第 1 表示手段とは異なる第 2 表示手段に表示可能な第 2 表示制御手段と、を有し、

電源の供給が停止され、その後電源が投入されたとき、前記記憶手段の記憶領域をチェックし、前記記憶領域が正常な場合、初期値を必要とする記憶領域に初期値を設定し、前記演出制御手段に電断復帰コマンドを送信し、

電源の供給が停止され、その後電源が投入されたとき、前記記憶手段の記憶領域をチェックし、前記記憶領域が正常ではない場合、前記記憶領域のクリア処理を実行し、初期値を必要とする記憶領域に初期値を設定し、前記演出制御手段に初期化コマンドを送信し、

電源の供給が停止され、その後電源が投入されたとき、前記特定操作手段が操作されていた場合、前記記憶手段の記憶領域のクリア処理を実行し、初期値を必要とする記憶領域に初期値を設定し、前記演出制御手段に初期化コマンドを送信し、

前記演出制御手段は、

前記設定変更状態に関連する設定変更情報、当該設定変更状態に制御された時間に関連する設定変更時間情報、前記設定確認状態に関連する設定確認情報、及び、当該設定確認

状態に制御された時間に関連する設定確認時間情報を記憶可能な設定情報記憶手段を有し、

前記状態制御手段は、

前記設定確認状態において電源の供給が停止され、その後電源が投入されたとき、前記設定操作手段の操作状態と前記特定操作手段の操作状態とに応じて、前記複数の状態のうちいずれかに制御し、

前記設定変更状態において電源の供給が停止され、その後電源が投入されたとき、前記設定操作手段および前記特定操作手段の操作状態にかかわらず前記設定変更状態に制御可能又は電源の供給が停止されたときの設定変更状態で復電可能であって、前記設定値を変更する処理を行うときにクリア処理を実行可能であり、

前記演出制御手段は、

前記設定変更情報と前記設定変更時間情報とを対応させて前記演出領域に表示可能であり、

前記設定確認情報と前記設定確認時間情報とを対応させて前記演出領域に表示可能であり、

前記設定変更状態において電源の供給が停止され、その後電源が投入され、前記設定値を変更する処理を行うときにクリア処理を実行する場合、当該クリア処理が実行されることを前記演出領域に表示せず、

前記設定値を変更する処理を行わないときにクリア処理を実行する場合、当該クリア処理が実行されることを前記演出領域に表示可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００２】

従来より、所定の条件が成立すると抽選を行い、この抽選の結果にもとづいて図柄の可変表示を行う遊技機が知られている。そして、抽選の結果が特定の結果であることを示す特定の表示結果で表示されると、遊技者に有利な遊技状態に制御される。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

この種の遊技機では、上記抽選の結果が特定の結果となる確率等、遊技において遊技者の有利不利に関わる確率を示す複数の設定値のうちいずれか１つの設定値を設定し、以後、設定された設定値にもとづいて遊技の進行が制御される遊技機が知られている（例えば、特許文献１の段落〔００６３〕参照）。上記の設定値は、例えばホールの遊技機管理者等、権限を有する者が設定することができる。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

【特許文献１】特開２０１１－２０６５８８号公報（例えば、段落〔００６３〕参照）

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

ところで、設定された設定値にもとづいて遊技の進行が制御される遊技機において、設定値は、出玉にかかわるため、ホールおよび遊技者のいずれにとっても重要な要素である。しかし、例えば電断等の発生により設定値に異常が生じる虞がある。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

本発明は、そのような点に鑑みてなされたものであり、その目的は、新たな遊技機を提供することにある。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明に係る遊技機は、

遊技者にとっての有利度にかかわる設定値にもとづいて遊技の進行にかかわる制御を実行可能であり、情報を記憶可能な記憶手段を有する制御手段（例えば、主制御回路 1 0 0 ）と、

前記設定値にかかわる操作に用いられる設定操作手段（例えば、設定キー 3 2 8 ）と、

前記記憶手段に記憶される情報を消去する操作に用いられる特定操作手段（例えば、バックアップクリアスイッチ 3 3 0 ）と、

電源が投入されると前記制御手段に電力を供給可能な電力供給手段（例えば、電源供給回路 3 3 8 ）と、

所定の演出領域に表示される画像を制御可能な演出制御手段（例えば、サブ CPU 2 0 1 ）と、

を備え、

前記制御手段は、

前記設定操作手段の操作状態と前記特定操作手段の操作状態とに応じて、電源が投入されたのちの状態を、前記設定値を変更することが可能な設定変更状態および前記設定値を確認することが可能な設定確認状態を含む複数の状態のうちいずれかに制御可能な状態制御手段（例えば、ステップ S 3 0 2 4、ステップ S 3 0 2 6、ステップ S 3 0 2 8 等の処理を実行可能なメイン CPU 1 0 1 ）と、

前記設定値の情報（例えば、設定値情報）を第 1 表示手段（例えば、性能表示モニタ 3 3 4 ）に表示可能な第 1 表示制御手段（例えば、S 3 2 4 5 0 の処理を実行するメイン CPU 1 0 1 ）と、

前記設定変更状態であることを示す情報を前記第 1 表示手段とは異なる第 2 表示手段に表示可能な第 2 表示制御手段（例えば、S 3 2 4 6 0 の処理を実行するメイン CPU 1 0 1 ）と、を有し、

電源の供給が停止され、その後電源が投入されたとき、前記記憶手段の記憶領域をチェックし、前記記憶領域が正常な場合、初期値を必要とする記憶領域に初期値を設定し、前記演出制御手段に電断復帰コマンドを送信し、

電源の供給が停止され、その後電源が投入されたとき、前記記憶手段の記憶領域をチェックし、前記記憶領域が正常ではない場合、前記記憶領域のクリア処理を実行し、初期値

を必要とする記憶領域に初期値を設定し、前記演出制御手段に初期化コマンドを送信し、電源の供給が停止され、その後電源が投入されたとき、前記特定操作手段が操作されていた場合、前記記憶手段の記憶領域のクリア処理を実行し、初期値を必要とする記憶領域に初期値を設定し、前記演出制御手段に初期化コマンドを送信し、

前記演出制御手段は、

前記設定変更状態に関連する設定変更情報、当該設定変更状態に制御された時間に関連する設定変更時間情報、前記設定確認状態に関連する設定確認情報、及び、当該設定確認状態に制御された時間に関連する設定確認時間情報を記憶可能な設定情報記憶手段（例えば、ワークＲＡＭ２０３）を有し、

前記状態制御手段は、

前記設定確認状態において電源の供給が停止され、その後電源が投入されたとき、前記設定操作手段の操作状態と前記特定操作手段の操作状態とに応じて、前記複数の状態のうちいずれかに制御し（例えば、ステップＳ３０２２～ステップＳ３０２８の処理を実行し）、

前記設定変更状態において電源の供給が停止され、その後電源が投入されたとき、前記設定操作手段および前記特定操作手段の操作状態にかかわらず前記設定変更状態に制御可能又は電源の供給が停止されたときの設定変更状態で復電可能であって、前記設定値を変更する処理を行うときにクリア処理（例えば、Ｓ３２４２０の処理）を実行（例えば、ステップＳ３０２１においてＮＯと判別したときにステップＳ３０２４の処理を実行）可能であり、

前記演出制御手段は、

前記設定変更情報と前記設定変更時間情報とを対応させて前記演出領域に表示可能であり、

前記設定確認情報と前記設定確認時間情報とを対応させて前記演出領域に表示可能であり、

前記設定変更状態において電源の供給が停止され、その後電源が投入され、前記設定値を変更する処理を行うときにクリア処理を実行する場合、当該クリア処理が実行されることを前記演出領域に表示せず、

前記設定値を変更する処理を行わないときにクリア処理を実行する場合、当該クリア処理が実行されることを前記演出領域に表示可能である

ことを特徴とする。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

上記の遊技機によれば、新たな遊技機を提供することが可能となる。

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１１】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 2
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 3
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 4
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 5
【補正方法】 削除
【補正の内容】
【手続補正 1 6】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0 0 1 6
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【 0 0 1 6】

本発明によれば、新たな遊技機を提供することが可能となる。